以下の日本語版は、米国時間 2026 年 10 月 29 日付で発表されたオリジナルの英語版から情報提供の目的で和文抄訳したものです。英語版と翻訳版で解釈の相違がある場合は、英語版が優先されます。

プレスリリース

報道関係者各位

2026 年 11 月 10 日

インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社

インサイト、2026 年第 3 四半期業績を発表し、事業の進捗を報告

- *2026* 年第 *3* 四半期の総収益は *15* 億 *6,000* 万米ドル、製品売上高（純額）は *13* 億 *2,000* 万米ドルとなり、*2025* 年第 *3* 四半期と比較してそれぞれ *14*%増加
- *Jakafi*®／*Jakafi XR*™（ルキソリチニブ）の売上高（純額）は *8* 億 *2,700* 万米ドルとなり、*2025* 年同期比 *4*%増加
- *Jakafi* 以外の中核事業は引き続き成長し、*Opzelura*®（ルキソリチニブ）クリームの売上高（純額）は *2* 億 *5,500* 万米ドル、血液・がん領域ポートフォリオの売上高（純額）は *2* 億 *3,500* 万米ドルとなり、前年同期比でそれぞれ *36*%、*38*%増加
- *2026* 年通期の *Opzelura*、血液・がん領域ポートフォリオおよび製品売上高（純額）の業績見通しを上方修正
- *INCB161734* および *INCA33890* の第 *I* 相臨床試験データは、消化器がん領域における開発戦略の拡大を裏付けるものであり、*2027* 年には承認申請を目的とした複数の臨床試験を実施中または開始予定
- 血液領域では、*INCA033989* を対象とした本態性血小板血症（*ET*）および骨髄線維症（*MF*）、ならびに *latarcibart* を対象としたフォン・ヴィレブランド病（*VWD*）において、第 *III* 相臨床試験が進行中または開始予定であり、承認申請に向けた複数の開発プログラムが進展
- 結節性痒疹（*PN*）を対象とした *povorcitinib*、および化膿性汗腺炎（*HS*）を対象としたルキソリチニブクリームの第 *III* 相臨床試験データを *2026* 年末までに公表予定

デラウェア州ウィルミントン – 2026 年 10 月 29 日 – インサイト（Nasdaq:INCY）は本日、2026 年第 3 四半期の業績を発表するとともに、事業の進捗状況について報告しました。

インサイトの最高経営責任者（CEO）である Bill Meury は次のように述べています。
「第 3 四半期は、好調な販売実績、パイプラインの大きな進展、そして重要な規制上の成果によって特徴づけられる四半期となりました。米国内外で製品売上高（純額）が力強く成長し、Jakafi 以外の持続的な中核事業の基盤が形成されています。同時に、当社は、骨髄増殖性腫瘍を対象とした CALR 標的モノクローナル抗体、フォン・ヴィレブランド病を対象とした新規プロテイン S モジュレーター、膵がんおよび大腸がんを対象とした KRAS G12D 阻害剤、ならびに大腸がんを対象とした TGFβR2×PD-1 二重特異性抗体を中心とするパイプラインの開発を進めています。これらはいずれも当社にとって大きな機会であり、2029 年以降の成長に向けた複

数の道筋をもたらすものです。今後、臨床開発、規制当局による審査、商業化において重要な進展が見込まれる中、当社は患者さんと株主の皆さまに長期的な価値を創出するための良好な位置にいると考えています。」

2026 年第 3 四半期業績に関するプレスリリース全文は、こちら（英語）をご覧ください。

Incyte について

インサイトは、アンメットメディカルニーズを持つ患者さんのための解決策を科学に基づいて探求し続けるグローバルなバイオ医薬品企業です。深い科学的専門性と患者さんを第一に考える姿勢のもと、血液疾患、オンコロジー、炎症・自己免疫疾患領域において、ファースト・イン・クラス医薬品からなる確立されたポートフォリオと、次世代医薬品の幅広い開発ポートフォリオを構築しています。
Incyte に関する詳細は、Incyte.com、Investor.Incyte.com、またはソーシャルメディア（ LinkedIn 、X 、 Instagram ）をご覧ください。

インサイトの将来予測に関する記述

本プレスリリースに記載されている事項には（Incyte の予想される財務および事業運営上の業績、更新された 2026 年通期業績見通し、CMS との合意による影響に対する期待、持続的な長期成長を実現し、患者さんおよび株主の皆さまに長期的な価値を創出する能力、既存事業および上市済み製品の強みと成長、開発パイプラインにおけるプログラムの可能性および進展、ならびに将来の大きな成長機会をもたらす可能性、INCA033989（mutCALR）、INCB161734（KRAS G12D 阻害剤）、INCA33890（TGFβR2×PD-1 二重特異性抗体）、latarcibart、Niktimvo（axatilimab）、INCB123667（CDK2）、Opzelura および povorcitinib に関する臨床試験の開始時期、進捗、結果ならびに予定されているデータ公表に関する期待、新たに診断された DLBCL に対する Monjuvi および化膿性汗腺炎に対する povorcitinib を含む規制当局への承認申請、承認および上市に関する期待、Incyte の提携および協業に関する期待、ならびに「About Incyte」の見出しの下に記載されている Incyte の抱負と目標）、1995 年米国民事証券訴訟改革法およびその他の連邦証券法に定める将来予測に関する記述が含まれています。

将来見通しに関する記述は、さまざまな重要な要因により、実際の結果がこれらの記述で示された内容と大きく異なる場合があります。これらの要因には、臨床試験データが適用される規制要件を満たす十分な内容であること、または開発の継続を正当化し得る水準であること、臨床試験に必要な被験者数を確保する能力および計画どおりに被験者を登録する能力、規制当局の判断および対応（これには臨床試験の開始時期、進捗および販売承認への影響が含まれます）、Incyte 製品の有効性および安全性、承認された場合における上市製品および開発中の製品候補の商業的成功の達成能力、製品および技術に関する知的財産権の取得および維持能力、第三者およびパートナーに関連する要因、市場における Incyte 製品の受容性、市場競争ならびに販売・マーケティング・製造・流通に関する要件、訴訟または戦略的活動に関連する費用を含む予想を上回る費用の発生、Incyte 製品に対する薬価規制または償還・保険適用の制限が発表または予期せず導入されることによる

影響、ならびに医薬品の価格設定、償還または保険適用に関する政府当局との合意や取り決めによる影響などが含まれます。さらに、これらに加え、2025 年 12 月 31 日を期末とする年次報告書（Form 10-K）およびその後の四半期報告書（Form 10-Q）を含め、Incyte が米国証券取引委員会（SEC）に提出した報告書において詳細に記載されているリスクおよび不確実性も含まれます。Incyte は、これらの将来見通しに関する記述を更新する意図または義務を負いません。

* INCA33890 は、Merus との共同開発による TGFβR2×PD-1 二重特異性 Biclonics®抗体です（従来の提携関係に基づくもの）。Merus は現在、Genmab A/S の一部となっています。